

テーマセッション名：

提案者名：

所属：

会員番号：

住所：

電話番号：

電子メール：

要旨（300字以内）：

発表課題の構成

発表順	課題種別	発表予定課題名	代表発表者	所属
1	総説発表 (30分枠)	(総説)		
2	研究発表 (15分枠)			
3	研究発表 (15分枠)			
4	研究発表 (15分枠)			
5	研究発表 (15分枠)			

先頭に総説発表課題（30分枠）1課題を（2課題以上不可）、それに引き続いて2課題以上の研究発表課題（15分枠）を配置して下さい。セッション全体の時間は90分以内とします（総説1課題＋研究発表4課題まで）。提案者は、事前に必ず全ての発表課題の代表発表者に合意を得ておいて下さい。所属は略称でご記入下さい。

(記入例)

テーマセッション名： 花き類の突然変異の分子機構と育種への応用に関する研究の歴史と現状

提案者名： 園芸太郎

所属： 農研機構草花部門

会員番号： XXX

住所： 〒305-0000 茨城県つくば市草花町 007

電話番号： 029-838-○○××

電子メール： SSSS@YYY.XX.jp

要旨 (300 字以内)： 花き類の花形および花色の多様化に大きな役割を果たしてきた突然変異誘発について、その分子機構解明と育種への応用研究の歴史と現状を概説する。その上で、トレニアとヒマワリの突然変異誘発に関して、内生変異原であるトランスポゾンの転移活性を調節する分子機構と、トランスポゾンによる遺伝子構造の再構成、さらに、発生した変異体の育種への応用手法の開発に関する最新の研究成果を紹介する。これらの一連の研究発表により、突然変異育種を高度化する手法の開発について展望を得る。

発表課題の構成

発表順	課題種別	発表予定課題名	代表発表者	所属
1	総説発表 (30 分枠)	(総説) 花き類の突然変異育種法の開発の歴史と現状	園芸一郎	農研機構草花部門
2	研究発表 (15 分枠)	花壇用花きにおける転移活性を持つトランスポゾンの同定とその転移特性	茨城長兵衛	水戸農業大農学部
3	研究発表 (15 分枠)	ヒマワリの変異体「○△」のトランスポゾンの転移に及ぼす△□の影響	群馬忠次	高崎大院農学研究科
4	研究発表 (15 分枠)	トレニアの花の観賞性向上を目的とした育種における△○変異の利用	埼玉神奈子	川越大農学部
5	研究発表 (15 分枠)			

先頭に総説発表課題 (30 分枠) 1 課題を (2 課題以上不可)、それに引き続いて 2 課題以上の研究発表課題 (15 分枠) を配置して下さい。セッション全体の時間は 90 分以内とします (総説 1 課題 + 研究発表 4 課題まで)。提案者は、事前に必ず全ての発表課題の代表発表者に合意を得ておいて下さい。所属は略称でご記入下さい。